

夏休みですね。リックサックを背負って楽しそうな子供達をみると、どこに行くのかなと思います。季節的にはもう残暑のはずですが、まだまだ暑いです。熱中症に気をつけましょう。

/// I N D E X ///

- ・ ISO 関連情報-----①製品 CFP と組織の CFP の改訂がきました
②ISO 22095 : Chain of Custody の追補の提案がありました。
③TC322 で ISO 32212 (金融セクターのネットゼロへの計画) が始まりました。
④その他の現在活動中の LCA 関連の ISO をまとめておきます。
- ・ LCA の実務 mini --- お休みです
- ・ LCAF からお知らせ...LCAF オンライン初級研修を9月4日(水)・5日(木)に行います。
- ・ 編集後記.....富士登山

■ ISO 関連情報 ■

① 温室効果ガス(GHG)関連規格を発行している ISO/TC207/SC7 で以下の規格を改訂することがきました。

- ・ ISO14067:2018 製品のカーボンフットプリント (CFP)
- ・ ISO14064-1:2018 組織の CFP
- ・ ISO14064-2:2019 プロジェクトの CFP
- ・ ISO14064-3:2019GHG 声明書の妥当性確認

これらの規格は昨年行われたシステムテックレビュー (改訂または廃止する必要があるかという投票) では、確認 (そのまま維持) という意見が多かったのですが、改訂すべきという意見の中に本質的なことが含まれるということで、SC7 のタスクフォース委員会(TG1)で改訂を決めたということです。

早速 ISO14067 のコンビナー(議長)にきまった Daniele Pernigotti(イタリア)と ISO14064-1 のコンビナーにきまった Romain Poivet (フランス) からメールで、10月28日(月)の週に予定されている SC7 総会@ロンドンでワークショップをやろうと言って来ました。今後の改訂で議論になりそうなところを話し合おうという趣旨です。

彼らが言うのには、電力のマーケットベースと同様に、ガスのマーケットベースについて話し合おうというのです。パイプラインで天然ガスを融通する中にバイオガスが入ってくる欧州と LNG を輸入している日本のガスについての問題意識が少し違うように思いますが、日本でも e-fuel は話題なので、議論に加わろうと思います。

個人的には、ISO14067 の改訂では「SC5 で新規格の作業を始めるかどうかの投票中のマスマバランス方式との整合性」が、ISO14064-1 の改訂では「現在の規格ではロケーションベースに限定されている電力にマーケットベースを認めるか」が課題であろうと思います。ISO14064-2 のコンビナーにきまったエネルギー経済研究所の工藤さんは ISO14064-2 は大きな変更はないだろうと言っていました。

② ISO 22095 : Chain of Custody の追補の提案

7月下旬にアメリカから提案がありました。数カ所の Shall を should や may に変更することと、「トレーサビリティが問題になるので、ブック&クレイムは食品には適用しない」という Annex の文書の削除です。私は、後者は残す方が良いでしょう。含有物質の安全性を考えるとマスマバランスモデルも食品には適用しない、否・もっと進めて、GHG の算定に限定する方が良いでしょう。追補の作成が始まると DIS からのスタートになるとと思います。

③ TC322 (サステナブルファイナンス) の ISO 32212 (金融セクターのネットゼロへの計画)

正式名は「ISO/WD 32212 Sustainable finance-Net zero transition planning for financial institutions」です。金融セクターがネットゼロに向かって何を行うかという規格になると思います。私は、昨年発行された「ISO 14068-1 ネットゼロへの移行-カーボンニュートラリティ」及び活動が始まった「ISO/NP 14060 ネットゼロを目指す企業」との関係を見るためにエキスパートに登録してもらいました。私は参加できませんでしたが、7月24日に第1回WGがあり、9月と

10月に2回のWG会合を予定していて、早ければ来年1月末に対面会合を行ってDISにするという計画です。

金融セクターの気候変動対応は、既に「ISO14097:2021 気候変動ファイナンス」、「ISO14030 シリーズ:2021~2022 グリーンボンド」、「ISO14100:2022 グリーンファイナンス」があるので、屋上に屋を重ねることにならないか心配です。

④ 最近動いているLCA関連のISO規格

私が把握している作業中のLCA関連の規格を以下に整理しておきます。

○TC207/SC5 (LCA)

- ・ISO/FDIS 14071 クリティカルレビューのプロセス及びレビューアの力量:FDIS 投票中
- ・ISO/FDIS 14072 組織のLCA:FDIS 投票中
- ・ISO/FDIS 14075 ソーシャルLCA:FDIS 投票中
- ・ISO/FDIS 59014 二次材料:持続可能性及びトレーサビリティ (TC323(サーキュラーエコノミーとの共同開発):FDIS 投票中
- ・ISO/TS/CD 14076 環境技術経済性分析(eTEA):9月にCDコメント対応のWG開催
毎回5~6人しか集まらないWGです。TSでもあって関心がない国が多いようです。
- ・ISO/NP 14077 LCAでのマスバランスモデルの適用:NP投票中。規格を作るかどうかの投票が9月中旬締め切りで行われています。たぶん賛成多数で通ると思います。LCAに関する今後の最大の話題になると思います。グリーンウォッシュと言われないようにすることができるかどうかだと思います。

○TC207/SC3 (環境ラベル)

- ・ISO/CD 14021 自己宣言
- ・ISO/CD 14024 タイプI環境ラベル(エコラベル)
- ・ISO/CD 14025 タイプIII環境ラベル(EPD)

○TC207/SC7 (GHGマネジメント)

- ・ISO/追補/DIS 14064-1 組織のGHG:削減貢献量の定義と使う時の注意のAnnexの追加です。
- ・ISO/TS/CD 14064-4:旧ISO/TR140694-1(ISO 14064-1組織のGHGの事例)をTSにする作業です。
- ・ISO/NP 14060 ネットゼロを目指す企業:IWA42(ネットゼロガイドライン)をISにすることがままりました。ISO 14068-1 ネットゼロへの移行-カーボンニュートラルリティとの整合などが課題になっています。6月に第1回ワーキングが行われました。

○TC308 (Chain of Custody;加工流通過程の管理)

- ・ISO/CD 13662:マスバランスモデル;9月に米国で行われるWGでDISになる予定です。
- ・ISO/CD 13659:ブック&クレイム;同上

■■ LCAFからのお知らせ:LCAFオンライン中級研修 ■■

○LCAFオンライン初級研修を9月4日(水)・5日(木)に行います。

お申し込みは https://lcaf.or.jp/education/training/lca_base/

○今年度の初級及び中級研修と検定試験の日程は以下をごらんください。

<https://lcaf.or.jp/education/>

○[再掲] 好評につき増刷します。参考図書「基礎から学ぶLCA~LCAの実施と活用~」

以下からお申込みください。(3,000円+税+送料)です。

<https://lcaf.or.jp/education/textbook/>

この参考図書の図表をパワポに貼り付けた資料の販売を始めました。価格は要相談です。

■■ 編集後記 (今回は長いです。。) ■■

登山者が多過ぎるので入山規制を始めると聞きました。富士山がたいへん混雑しているようです。

富士山の麓で育ったので、親に手を引かれた幼稚園児の頃から、大学及び研究所の先輩・後輩と毎年富士山に登りました。子供の頃は、夏休みの絵日記の必須項目でした。朝に富士宮浅間神社から登山バスで新五合目まで行き、山頂で一泊してご来光を仰ぎ、芯がある飯と味付け海苔だけの朝食を頂き(気圧が低いと100℃でなくても湯が沸くというのをかなり小さいときに学びました)、砂走りを経て御殿場を下るのが稲葉家の標準コースでした。JR御殿場線には蒸気機関車が走っていて、車体にさわると煤で手が真っ黒になった覚えがあります。今でも蒸気機関車は遠

くで見ることになっています。

最初の頃は、登山バスが新2合目までしか行っていなかったと思います。新5合目に駐車場ができ、山頂にパラボラアンテナのドームが設置され、台風の進路が予測しやすくなったと言っていたと思ったら、気象衛星の使用でパラボラアンテナのドームが下ろされました。富士山にも歴史の変遷を感じます。

開山期間は7月と8月ですが、7月中は梅雨で天候不順、8月のお盆過ぎは山の天気が荒れると言われ、いつも8月のお盆前に登りました。一番元気だった大学生の頃は、午前中に遊びに来た友人と「今から登るか!」と、車を新五合目に停めて頂上まで登り、夕方には家でビールを飲んでいました。天気の良い日に荷物を持たず登ると日帰りが可能です。荷物を持つと高山病にかかります。悪天候が心配ですとどうしても荷物が多くなります。高山病とのバランスが必要です。東京から来る人たちは夜の登山が主流で、八合目あたりでご来光を拝んだようです。晴れた夜に麓から見ると、富士山の山頂まで懐中電灯の長い列が見えました。

富士山は溶岩と砂の山です。木も無い吹きさらしですから悪天候ですと最悪です。日本一の山ですから一生に一度は登りたいと思う人がいても、登山の楽しみが少ない人気がない山だったと思います。どうして今、混雑するのでしょうか。

それでも、晴れた日の眼下に広がる雲海と、降って来そうな星の数、くっきりと見える天の川、地平線(雲海線)から昇る太陽の神々しさは忘れられません。最後に研究所の仲間と昇ったのは、もう30年以上前になります。「ブラタモリ」でタモリさんは70才過ぎて登っていました。私も(今年はとても忙しいですが)、来年には再び挑戦してみようと思います。

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

○LCAFの活動にご支援頂ける企業様に「賛同会員」としてのご参加をお願いしています。

<https://lcaf.or.jp/support-members/>

ご協力をお願い申し上げます。

○ご意見、ご感想、この「LCAF通信」の配信停止のご連絡はこちらまで

lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本LCA推進機構

Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)

(エルカフと呼んで(読んで)ください)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-36-7 アルテール池袋608

電子メール: lcaf-contact@lcaf.or.jp

URL: <https://lcaf.or.jp/>